

## 事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	企画展等開催事業	コード	6202
-------	----------	-----	------

2 担当部課	部等	産業振興部	課等	ブランド推進室	作成者	滝澤 修
--------	----	-------	----	---------	-----	------

3 事業概要	目的体系	基本目標	未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち		
		政策	スポーツ・文化の振興	施策	分化・芸術の振興
		予算科目	企画展等開催事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	魅力ある企画展及び収蔵品展の開催により、集客力を高めるとともに、シルク文化の歴史や文化について発信する。		
目的	対象者	市民及び来館者	
	意図	蚕糸業の歴史の伝承、郷土愛の醸成、市民の文化芸術の振興、シルクおかやの発信	

5 事業の実施内容		*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
<p>1 企画展 『挑戦する織維』 会期：平成31年4月18日（木）～令和元年6月23日（日） 入館者：5,923人 協力：東京農工大学 JAXA イベント：講演会 1回 30人／ワークショップ 1回 14人</p> <p>2 企画展 『信州の作家展 M2+K2』 会期：令和元年6月27日（木）～7月28日（日） 入館者：3,076人 協力：花岡真知子、堀内雅博、丸山邦江、山田邦子 イベント：ギャラリートーク 2回 72人／ワークショップ 1回 22人</p> <p>3 企画展 『ユミカツラ シルクの魅力とブライダルファッション』 会期：令和元年8月1日（木）～9月29日（日） 入館者：5,409人 協力：株式会社ユミカツラインターナショナル イベント：オープニングイベント 1回 50人／ユミカツラファッションショー 1回 1,000人／ギャラリートーク 2回 200人</p> <p>4 企画展 『草木染 山崎斌・青樹・和樹 三代の軌跡』 会期：令和元年10月3日（木）～令和2年2月24日（日） 入館者：11,285人 協力：草木工房（草木染研究所柿生工房） イベント：ギャラリートーク 6回 316人／ワークショップ 6回 126人</p> <p>5 収蔵品展 『運ぶ。蚕糸業を支えたモノの流れ』</p>			
前年度の課題への対応	開館5周年を迎え例年以上にシルクに関連した創作、ものづくり、ファッション等を切り口とした企画展等を企画し積極的に広くPRに努めた。		

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	企画展、収蔵品展の開催日数			単位	日
実績値	253	265	304		
*指標の説明	企画展、収蔵品展の開催日数				
② 成果指標（指標名）	1日当りの入館者数			単位	
目標値	100	100	100	100	
実績値	114	94	97		
達成度	114.0%	94.0%	97.0%		
*指標の説明	企画展、収蔵品展会期中の1日当りの入館者数				
*目標値の設定方法の説明	入館者推計の目標値における1日当りの入館者数				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	3,082,261	2,799,713	1,810,928	3,000,000
経常経費	0	0	0	0
臨時的経費	3,082,261	2,799,713	1,810,928	3,000,000
* 臨時的経費の説明				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000
正規職員の人数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00
③ 合計コスト(①+②)	11,082,261	10,799,713	9,810,928	11,000,000
前年度比		97.5%	90.8%	112.1%
財源	11,082,261	10,799,713	9,810,928	11,000,000
一般財源				
内訳	0	0	0	0
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	31,621	30,189	26,316	
前年度比		95.5%	87.2%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	1	
成果指標の実績値 前年度比	103.2%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	1	0
成果指標の目標値 達成度	97.0%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課 題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) シルクの魅力を広く伝え、多くの市民に興味を持っていただける企画展の開催。	
	改 善 方 法	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容) ・来館者の声等や関心の高い内容や、他の美術館・博物館の展示会及び関連イベントの情報を収集、分析するなかで魅力ある企画展を開催する。
		改善開始時期

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	--	---